

第17回 RIDCマンスリー研究セミナー

ぶどう輸出の現状と消費者の評価

— 台湾のアンケート調査から —

スピーカー

岡山大学グローバル人材育成院 准教授

駄田井 久

日時

2022年11月16日(水)

12:00~13:00

場所

オンライン開催



日本国内の人口減少・少子高齢化による農産物の国内市場縮小を考慮すると、日本産農産物輸出拡大が重要な課題である。その中で、農林水産省は2025年の農林水産物・食品の輸出額2兆円を目標値として様々な施策を講じており、農林水産物輸出額は2015年の7,450億円から2021年の1.2兆円と大きく増加している。

2021年の農産物輸出国先は(金額ベース)、上位から香港・中国・アメリカ・台湾であり、アジアの国・地域が中心となっている。アジア市場では、ジャパンプランドとして日本産であることが、他地域産よりも相対的な優位性を示すことが重要であるとされている。

重要な輸出先である台湾において、将来的な輸出増加が期待できるぶどうを事例として、消費者のぶどうの購買行動の把握と日本産ぶどうに対する評価に関する報告を行う。

お申し込み先

<https://forms.gle/HwnHTsMMdHXas5Dh8>

お申し込み締め切り

11月15日 12:00

お問い合わせ先

文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp



*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。